

「田上山地の禿山の地形学的特性」の一部訂正について

松田博幸・奥西一夫

ERRATA TO “GEOMORPHOLOGICAL CHARACTERISTICS OF BARE-LANDS IN TANAKAMI MOUNTAIN RANGE” PRESENTED IN NO. 13A

Hiroyuki MATSUDA and Kazuo OKUNISHI

標記の論文（年報第13号A, pp. 541~555）に校正ミスによる誤植が多数ありましたので以下のように訂正いたします。

場 所	誤	正
p. 541 synopsis 7行目	six erosional……	five erosional……
“ 本 文 8行目	段丘堆積物	(段丘堆積物)
p. 542 下から 2行目	出来る荒れ……	出来るだけ荒れ……
p. 544 上から 2行目	一部山頂	一部の山頂
p. 546 下から 6行目	Fig. 5 (B-b 断面)	Fig. 5 (A-a 断面)
“ “ “	得たものであるし	得たものである。
p. 547 上から 5行目	撓曲運動なって	撓曲運動などで
p. 549 上から 5行目	Fig. C-c 断面	Fig. 5 B-b 断面
“ “ 7行目	とほぼ同年代と判断される。	の形成時期に近いと判断される。
p. 551 “ 4行目	谷底面は局部的で、	谷底面は少なく、
“ 下から 15行目	(傾斜尾根と……	傾斜(尾根と……
“ “ 10行目	一般に起伏壁、	一般に起伏量
p. 554 上から 2行目	……でも前後の……	……でも 1 m 前後の……
“ “ 3行目	……の通過する lineament 鞍部	……lineament の通過する鞍部
“ “ 8行目	残積さ	残積土
“ photo. 4	白線が最も上に上がっている位置(すなわち白線と支流が交わる点)に inflection point を示す記号(1)がある。	
p. 555 上から 3行目	象底面	谷底面
“ “ 4行目	回春形態違い	回春形態の違い
“ “ “	露出・壁岩地・流土地・森林地	露出・壁岩地, 流土地, 森林地
“ “ 9行目	残積土である。	残積土であると思われる。